

善通寺市保健事業実施計画

(案)

(第2期データヘルス計画)

平成30年度～平成35年度

平成30年3月

善通寺市

目次

第1章 基本事項	1
1 計画策定の目的	
2 計画の内容	
3 計画の期間	
4 計画の性格と位置づけ	
第2章 善通寺市の現状	2
1 世帯数と人口	
2 国民健康保険加入世帯と被保険者数	
3 国民健康保険被保険者に占める高齢者の割合	
4 特定健康診査の実施状況	
第3章 医療費等の状況	5
1 1人当たりの医療費	
2 医療費の内訳(疾病別)	
3 特定健診受診者の分析結果	
4 生活習慣病にかかる医療費	
5 慢性腎臓病(CKD)の重症度	
6 人工透析患者数	
第4章 第1期(平成28年度～平成29年度)の期間における事業の実施状況	11
1 健康診査	
2 健康教室	
3 健康教育	
第5章 健康課題と目標値の設定	19
1 健康課題の設定	
2 健康課題に対する目標と目標達成に向けての取組み	
第6章 計画の推進体制	22
1 計画の進行管理	
2 計画の見直し	
3 公表と周知	
4 個人情報保護	

第1章 基本事項

1 計画策定の目的

本市では、「国民健康保険法(昭和33年法律第192号)第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(保険事業実施指針)」に基づき、効果的・効率的な保健事業の実施を図るための計画として、平成28年3月に「善通寺市保健事業実施計画(データヘルス計画)」を策定し、被保険者の健康的な生活習慣をさらに定着させるため、様々な事業の実施に取り組んできました。

現行の「善通寺市保健事業実施計画(データヘルス計画)」は、平成28年度から平成29年度までの2年間を計画期間として策定されており、その計画期間(第1期)が終了することに伴い、評価・見直しを行うとともに、後継計画となる「善通寺市保健事業実施計画(第2期データヘルス計画)」を策定します。

2 計画の内容

本計画はKDB(国保データベース)システム、SBSのデータに基づき、第1期(平成28年度～平成29年度)の期間における本市の取組みと成果を踏まえ、本市における今後の健康課題を分析し、被保険者の健康的な生活と医療費適正化のため、保健事業の取組みについて定めるものです。

3 計画の期間

平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

4 計画の性格と位置づけ

本計画は、第5次善通寺市総合計画の基本目標「福祉先進、だれにもやさしいまちづくり」を実現するために、保健事業実施指針に基づき策定するものです。また、第3期善通寺市国民健康保険特定健康診査等実施計画との整合性を図ります。

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
			第5次善通寺市総合計画 (平成23～32年度)												
								善通寺市保健事業計画(データヘルス計画)	善通寺市保健事業計画 (第2期データヘルス計画)						
第1期善通寺市国民健康保険 特定健康診査等実施計画					第2期善通寺市国民健康保険 特定健康診査等実施計画					第3期善通寺市国民健康保険 特定健康診査等実施計画					

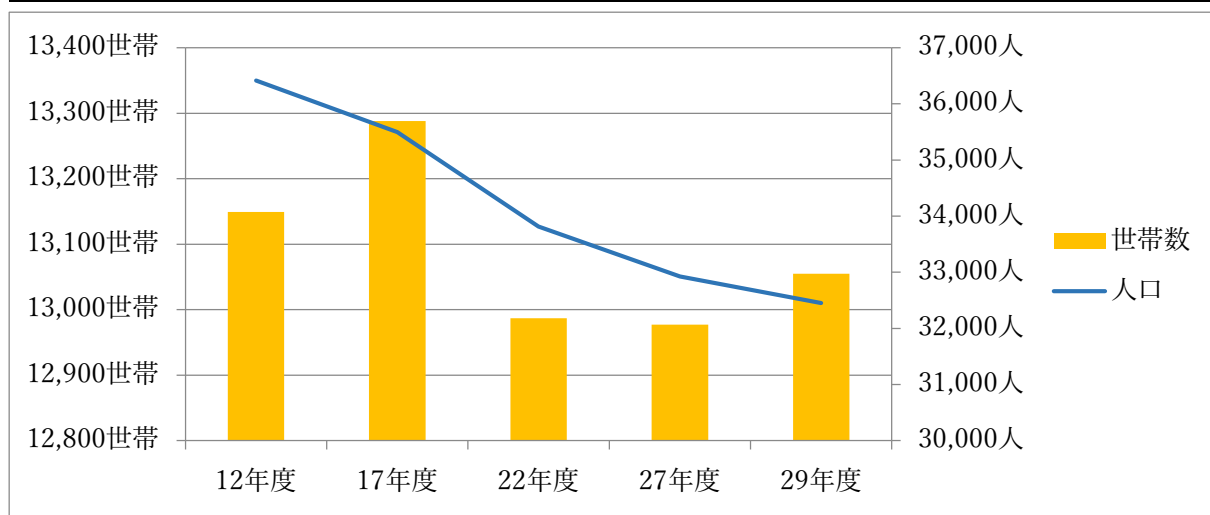
第2章 善通寺市の現状

1 世帯数と人口

本市の世帯数と人口は、平成29年10月1日現在、13,055世帯、32,451人です。世帯数については年度によって増減がみられるものの、人口については年々減少しています。

図1 善通寺市の世帯数と人口 (単位:世帯・人)

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成29年度
世帯数	13,149	13,288	12,987	12,977	13,055
人口	36,413	35,495	33,817	32,927	32,451



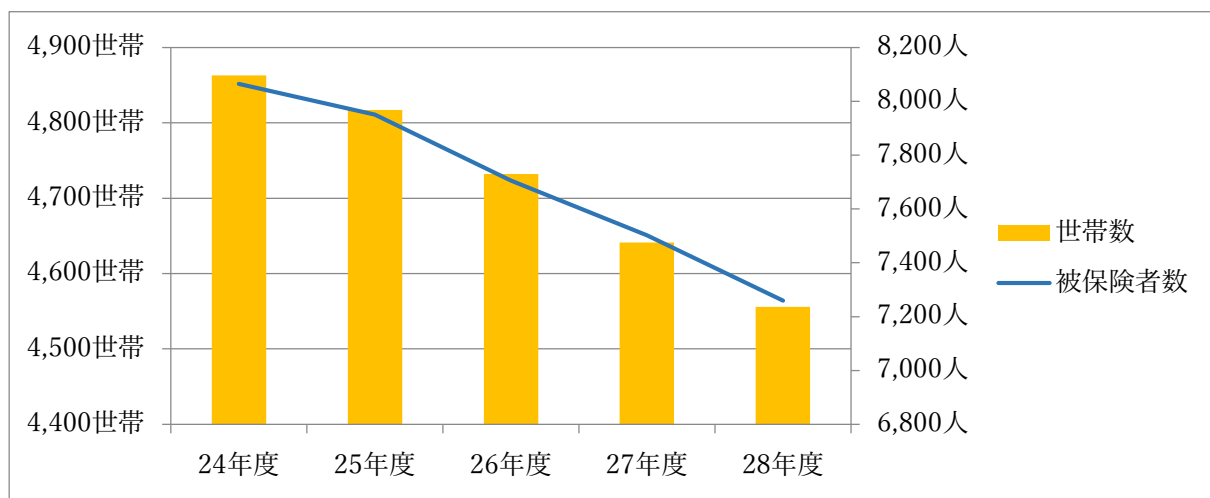
(平成12年度～27年度は国勢調査、平成29年度は市統計より)

2 国民健康保険加入世帯と被保険者数

本市の国民健康保険の加入世帯と被保険者数は、平成28年度平均で4,556世帯、7,259人です。加入世帯、被保険者数ともに年々減少傾向にあります。

図2 善通寺市国民健康保険の加入世帯数と被保険者数(平均) (単位:世帯・人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
世帯数	4,863	4,817	4,732	4,641	4,556
被保険者数	8,064	7,950	7,706	7,502	7,259

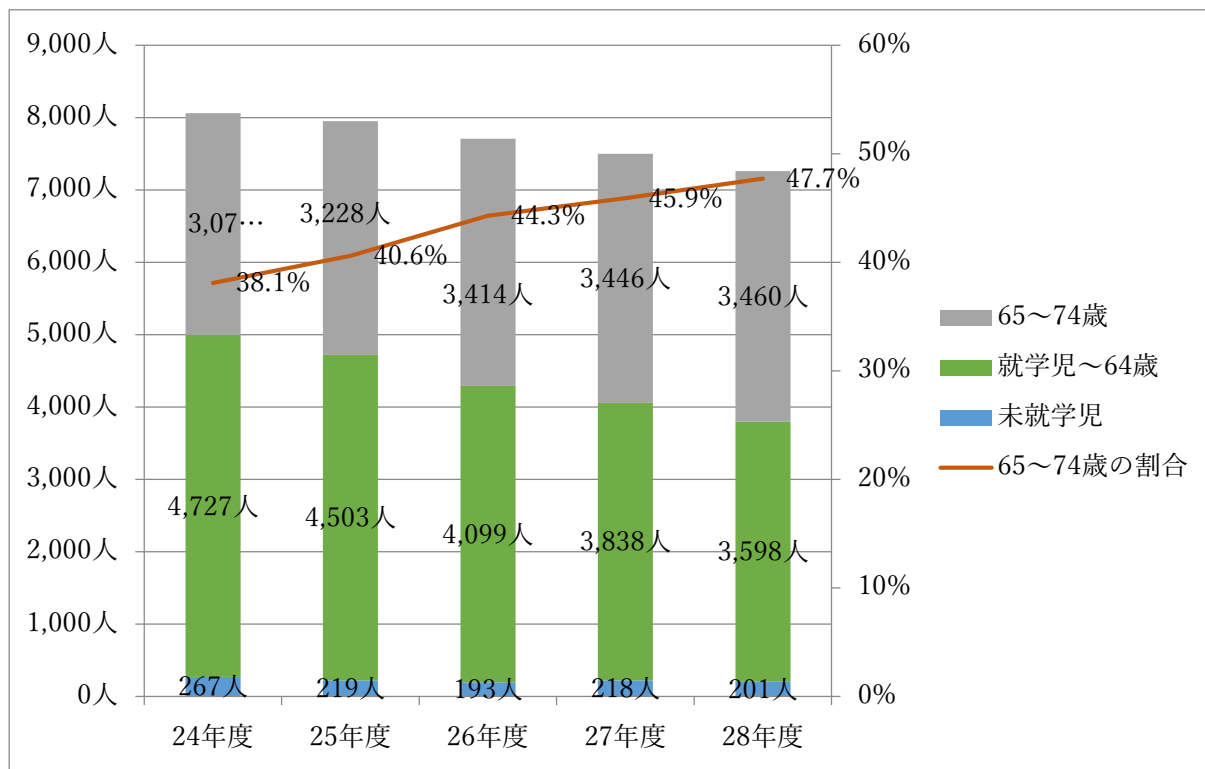


(事業年報より)

3 国民健康保険被保険者に占める高齢者の割合

国民健康保険被保険者に占める高齢者(65歳～74歳)の割合は、年々増加傾向にあり、平成28年度は47.7%となっています。

図3 国民健康保険被保険者に占める高齢者の割合 (単位:人・%)

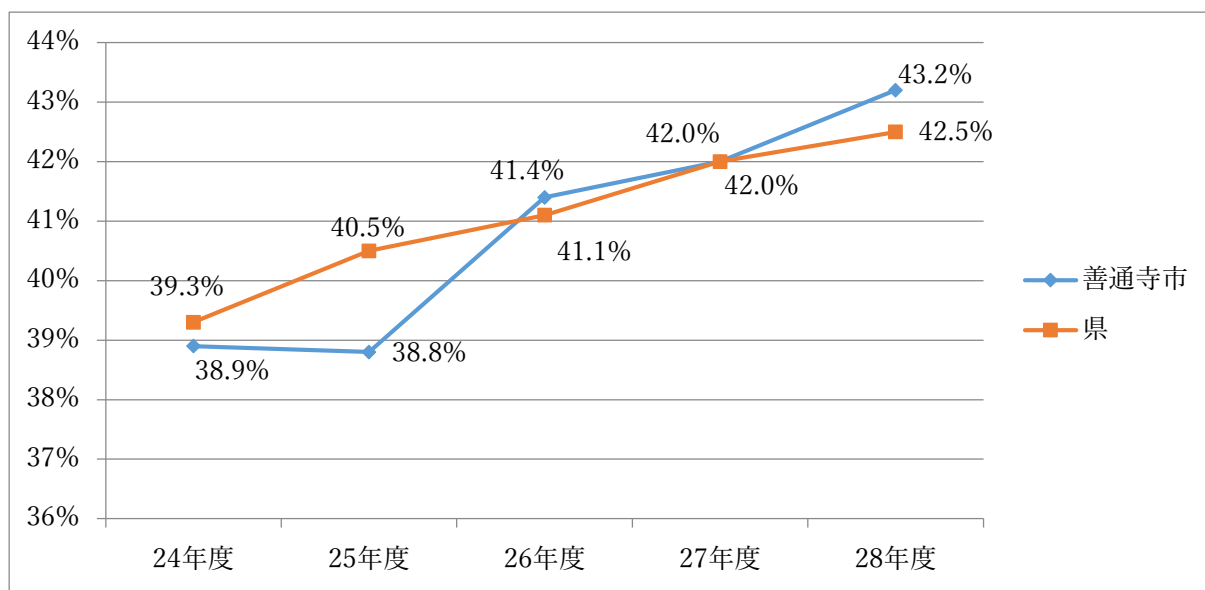


(事業年報より)

4 特定健康診査の実施状況

平成28年度の特定健康診査(以下「特定健診」という。)は、対象者5,011人、受診者数2,165人、実施率43.2%(男性38.4%、女性47.5%)です。香川県全体の平成28年度特定健診受診率は、42.5%であり、本市の実施率は香川県の平均より0.7%高くなりました。これは香川県内の17保険者のうち6位です。

図4-1 特定健診受診率の推移 (単位:%)

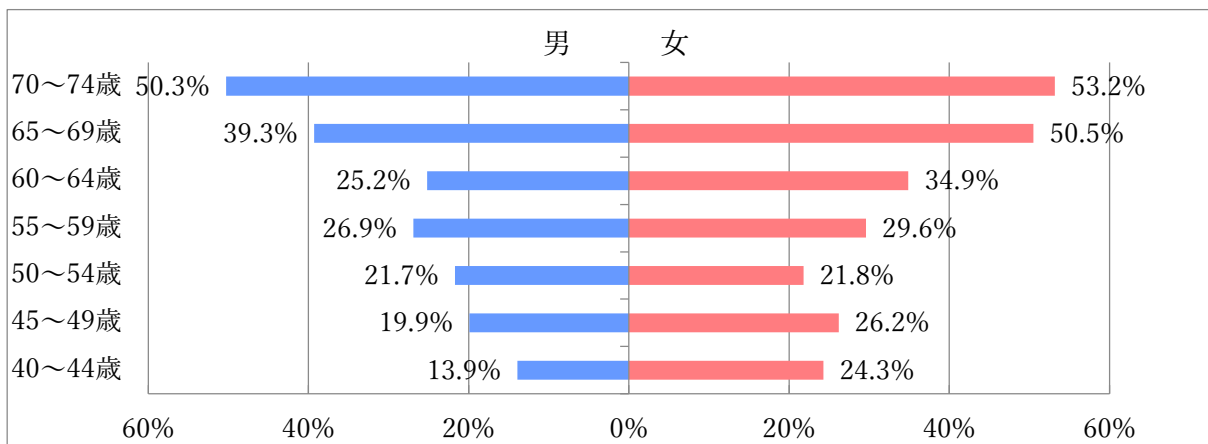


(法定報告より)

特定健診受診率を男女年齢別に見ると、どの年代においても女性の受診率が男性よりも高く、特に 65 歳以降は 50% を超えています。また男女ともに年齢が上がるにつれて受診率が高くなっています。

図 4-2 平成 28 年度特定健診男女年齢別受診率

(単位: %)

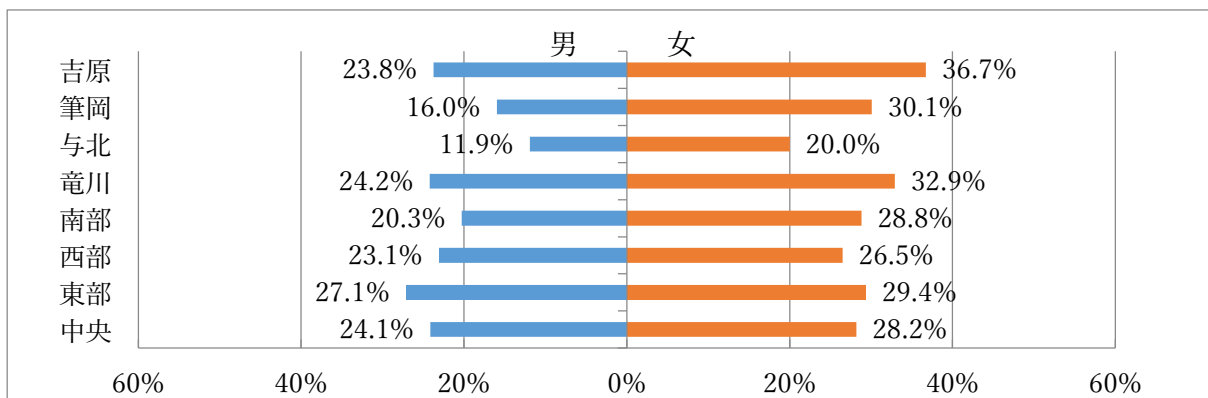


(KDB 厚生労働省様式 6-9 より)

地区別に見ると 40 歳～64 歳では吉原地区と竜川地区の女性の受診率が高く、与北地区の男性の受診率が低い傾向にあります。

図 4-3 平成 28 年度特定健診男女地区別受診率(40～64 歳)

(単位: %)

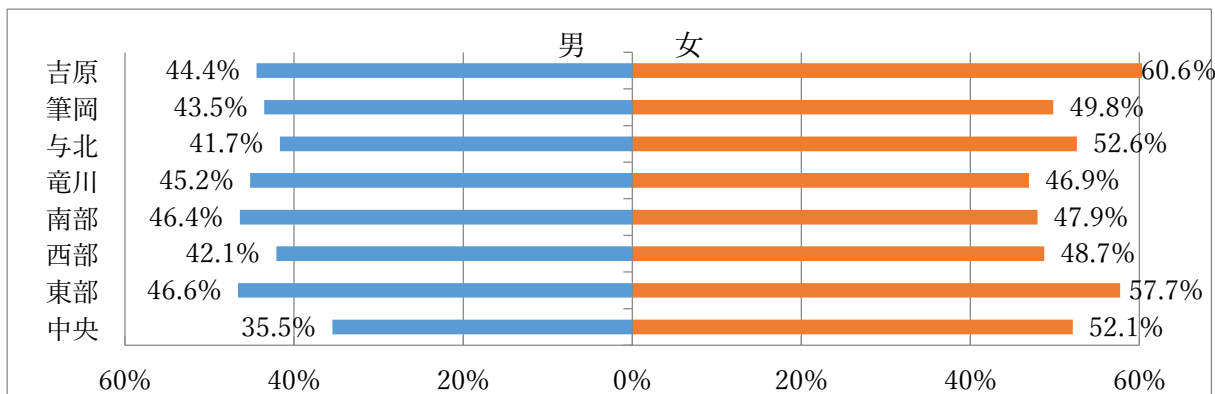


(KDB 厚生労働省様式 6-9 より)

65 歳から 74 歳では、全地区において高い受診率を示していますが、中でも吉原地区、東部地区の女性の受診率が高い傾向にあります。

図 4-4 平成 28 年度特定健診男女地区別受診率(65～74 歳)

(単位: %)



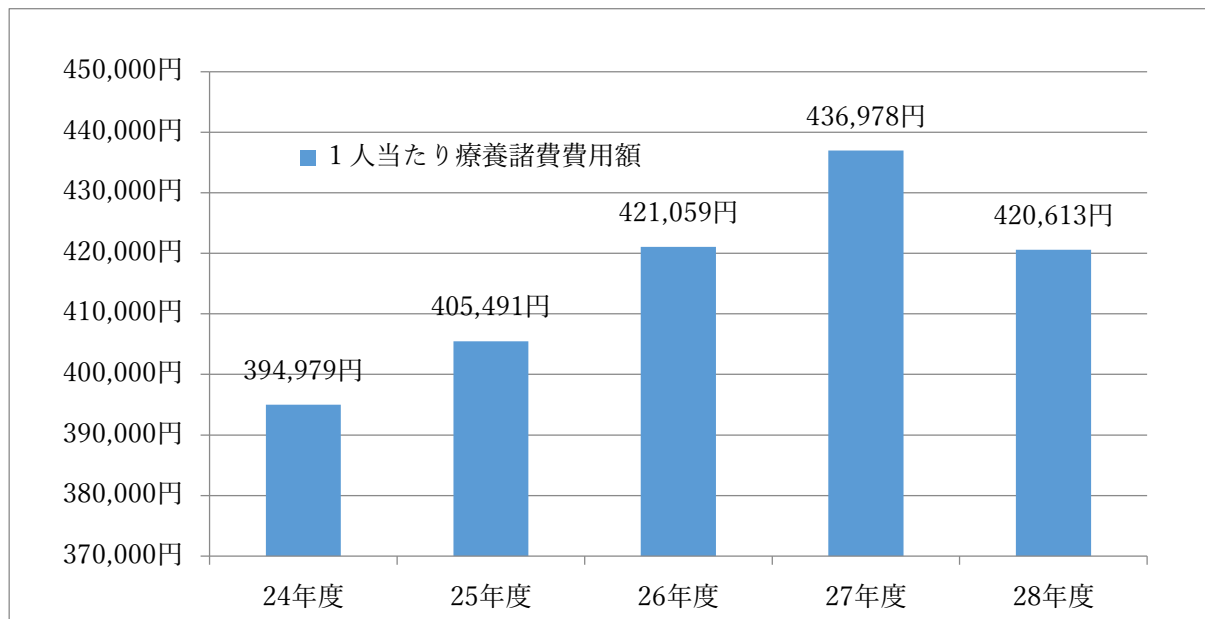
(KDB 厚生労働省様式 6-9 より)

第3章 医療費等の状況

1 1人当たりの医療費

平成24年度から平成27年度の本市の1人当たりの医療費は、年々増加傾向にありましたが、平成28年度は420,613円となっています。

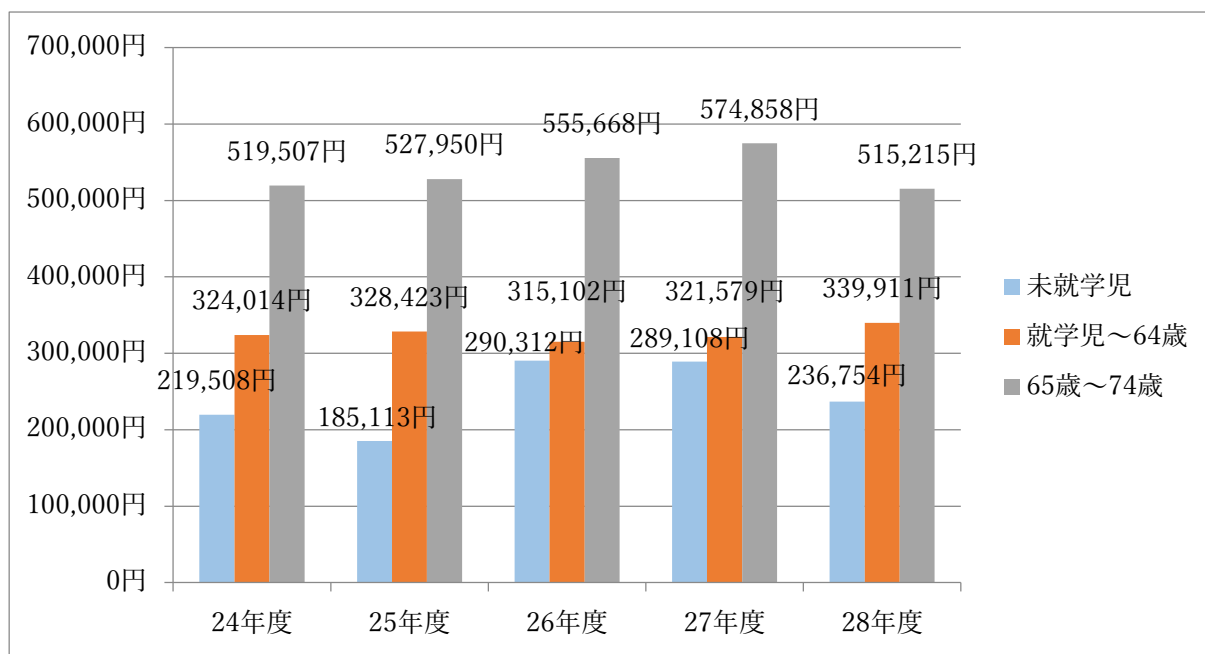
図5-1 1人当たりの医療費(10割)の額 (単位:円)



(事業年報より)

また、1人当たりの医療費を年齢別に見ると、65歳から74歳までの方の医療費が高額傾向にあります。

図5-2 年齢別1人当たり医療費(10割)の額 (単位:円)



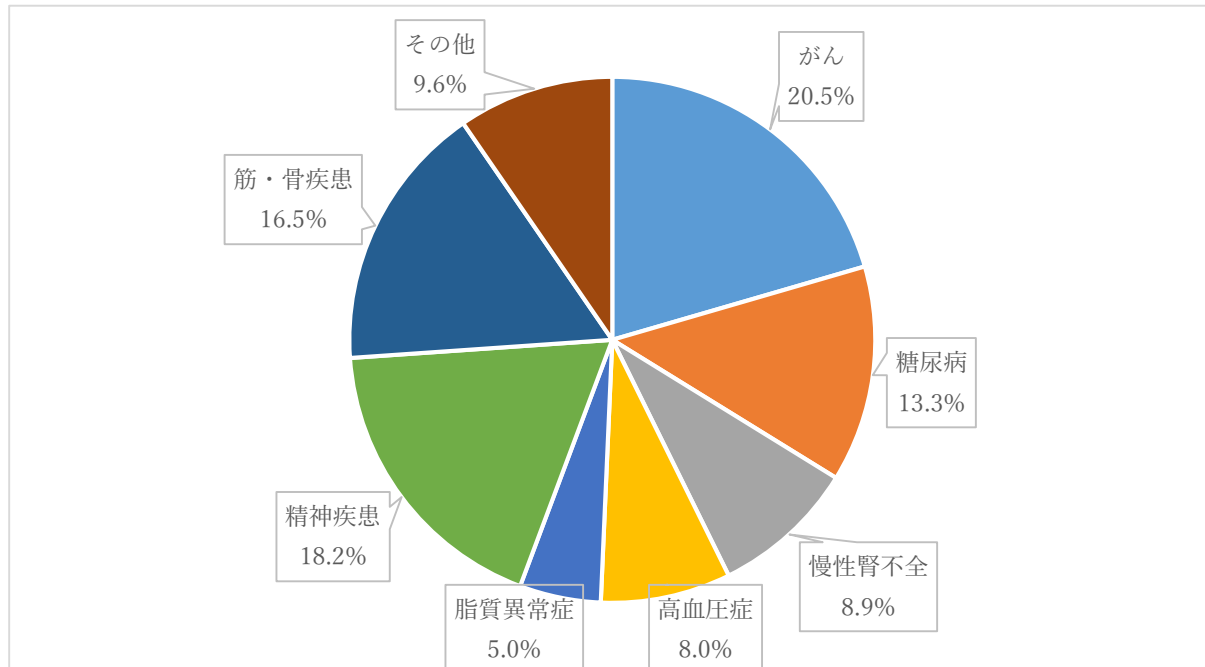
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
未就学児	219,508	185,113	290,312	289,108	236,754
就学児～64歳	324,014	328,423	315,102	321,579	339,911
65歳～74歳	519,507	527,950	555,668	574,858	515,215

(事業年報より)

2 医療費の内訳(疾病別)

本市の平成 28 年度の医療費のうち生活習慣病(がん・糖尿病・慢性腎不全・高血圧症・脂質異常症)が占める割合は 55.7%であり、医療費の半分以上を占めています。また疾病別に見ると、がん(20.5%)に次いで精神疾患(18.2%)の占める率が高く、次いで筋・骨疾患(16.5%)の順となっています。

図 5-3 平成 28 年度医療費に占める疾病別割合 (単位:%)

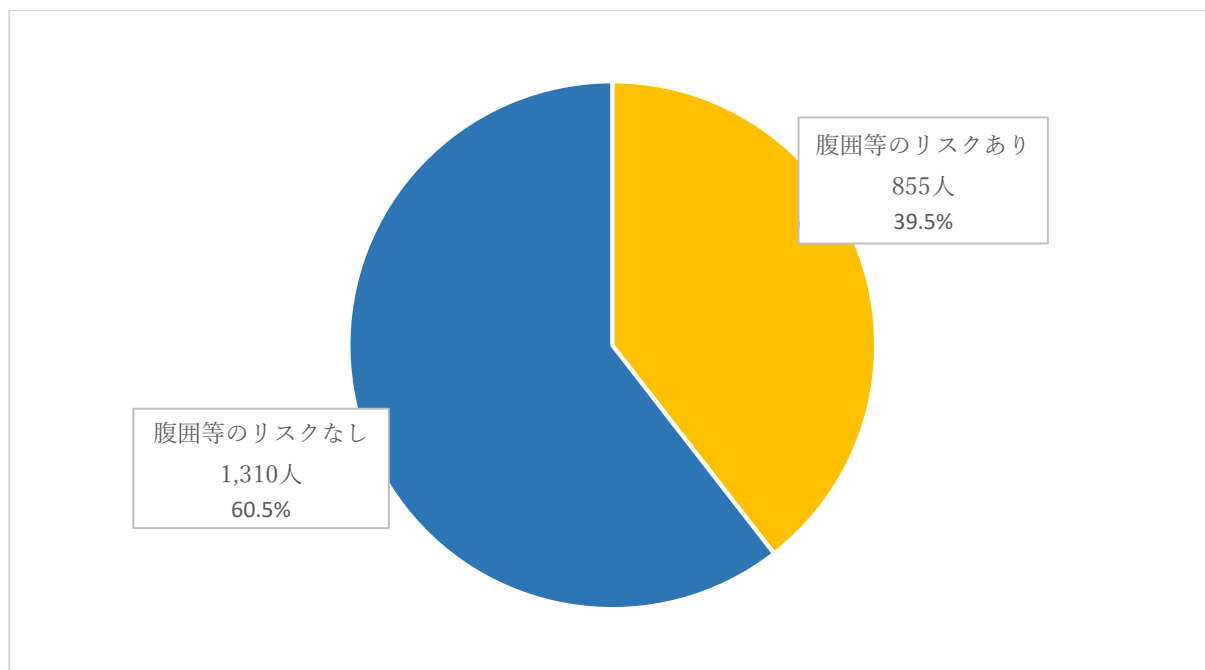


(KDB 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題より)

3 特定健診受診者の分析結果

本市の平成 28 年度の特定健診受診者 2,165 人のうち、メタボリックシンドローム該当者とされる腹囲等のリスクありと判定された者は 855 人であり、39.5%を占めています。

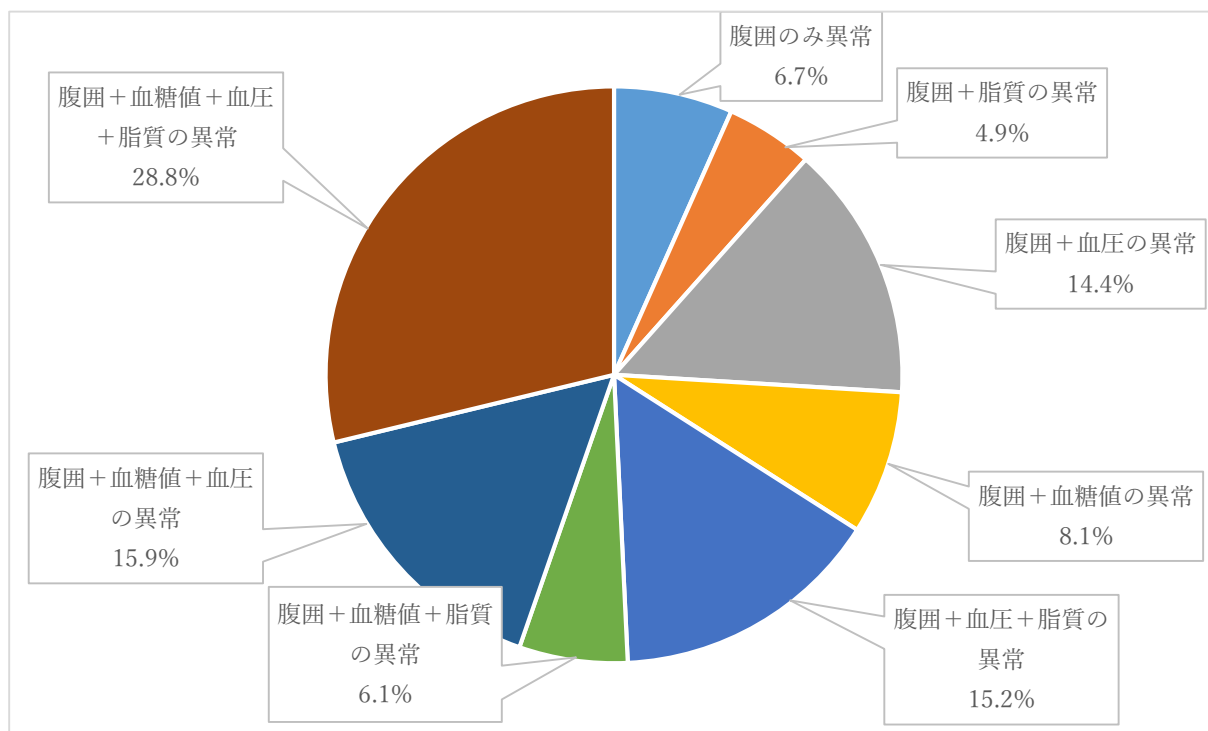
図 5-4 平成 28 年度特定健診受診者分析 (単位:人・%)



(KDB 保健指導対象者の絞り込み(健診ツリー図)より)

さらに、腹囲等のリスクあり(メタボリックシンドローム該当者)と判定された 855 人についての異常値を見ると、腹囲以外に脂質・血圧・血糖値の値において異常値を示した者が 9 割以上を占めています。

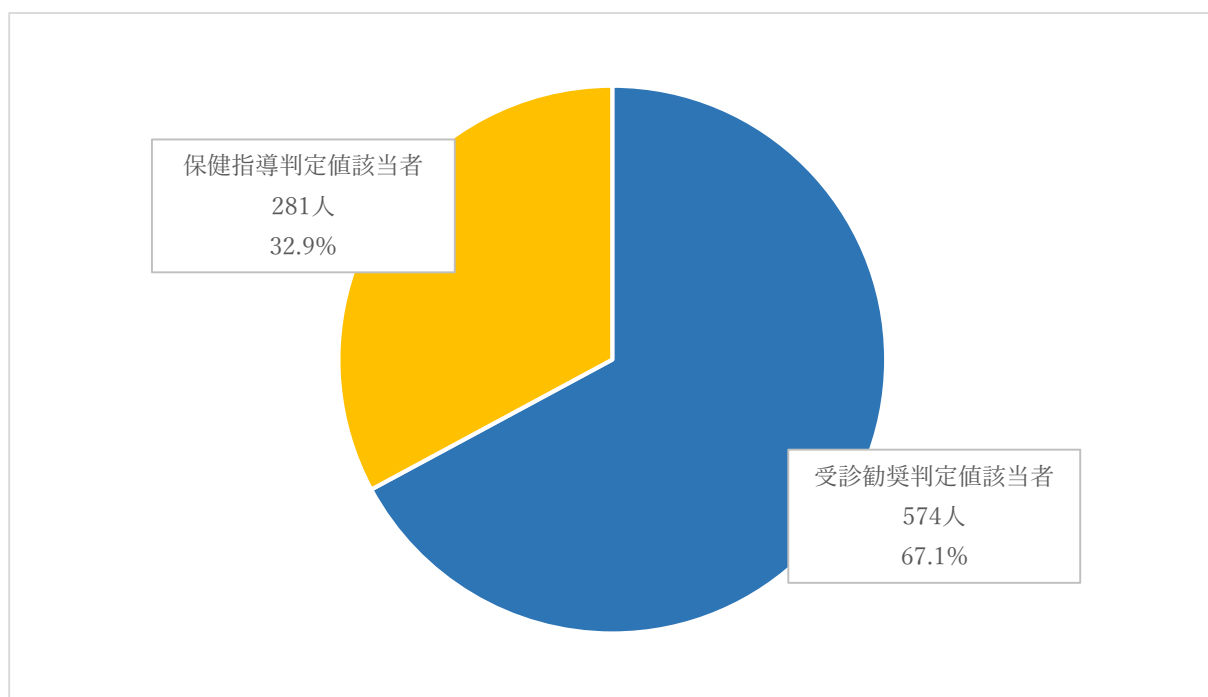
図 5-5 平成 28 年度メタボリックシンドローム該当者の異常値分析 (単位:%)



(KDB 保健指導対象者の絞り込み(健診ツリー図)より)

また、腹囲等のリスクあり(メタボリックシンドローム該当者)と判定された 855 人を受診勧奨・保健指導に分類すると、受診勧奨判定値該当者が 67.1%、保健指導判定値該当者が 32.8%を占めています。

図 5-6 平成 28 年度メタボリックシンドローム該当者の勧奨・指導別分析 (単位:人・%)



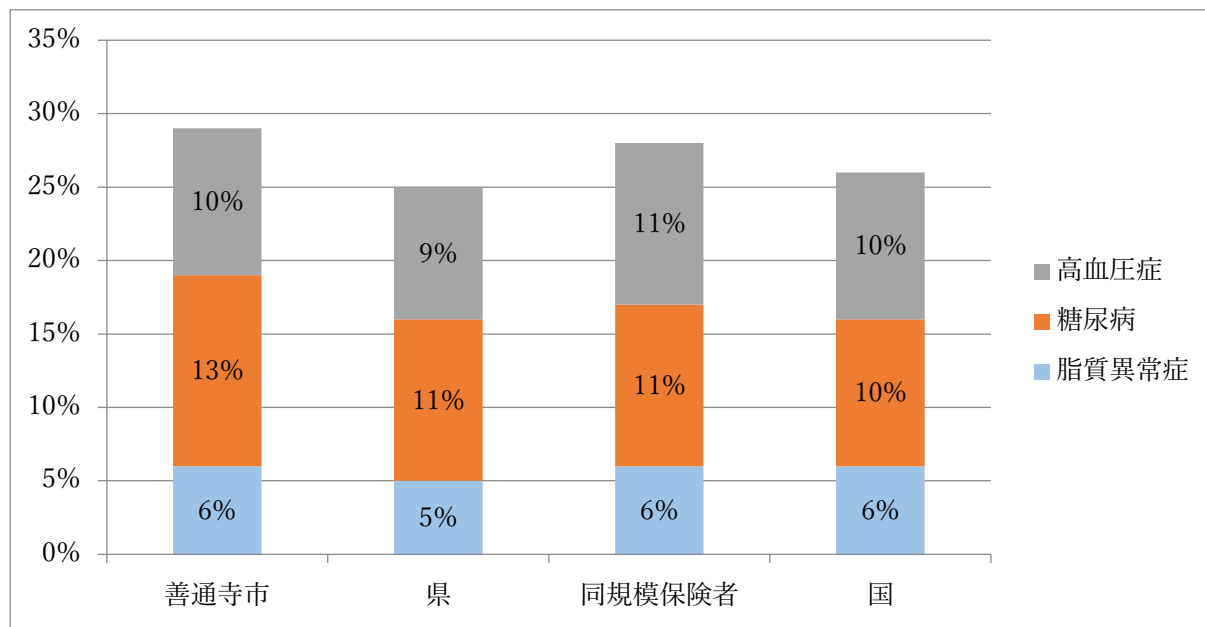
(KDB 保健指導対象者の絞り込み(健診ツリー図)より)

4 生活習慣病にかかる医療費

図 5-2、5-3 は 65 歳から 74 歳までの方の医療費が高額傾向にあること、医療費に占める生活習慣病の割合が高いことを示しています。ここで本市の 65 歳～74 歳の入院・外来レセプト点数に占める生活習慣病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)の割合を県、同規模保険者及び国と比較します。

図 6-1 平成 28 年度外来レセプト点数に占める生活習慣病の割合(65 歳～74 歳)

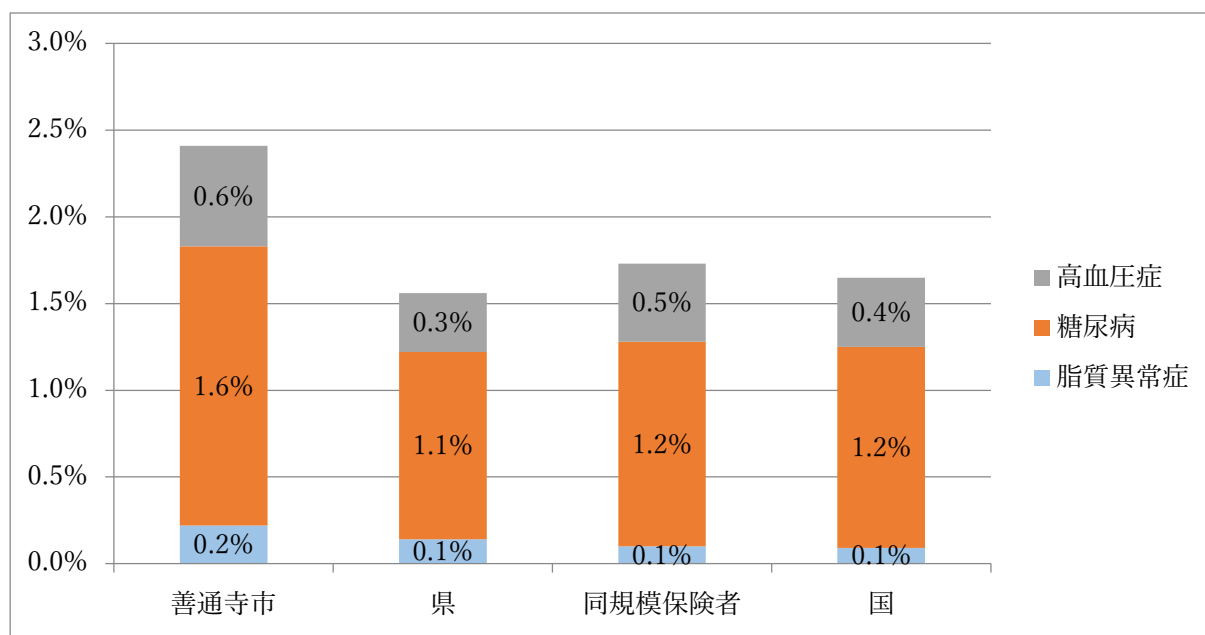
(単位: %)



(KDB 疾病別医療分析 細小(82)分類より)

図 6-2 平成 28 年度入院レセプト点数に占める生活習慣病の割合(65 歳～74 歳)

(単位: %)

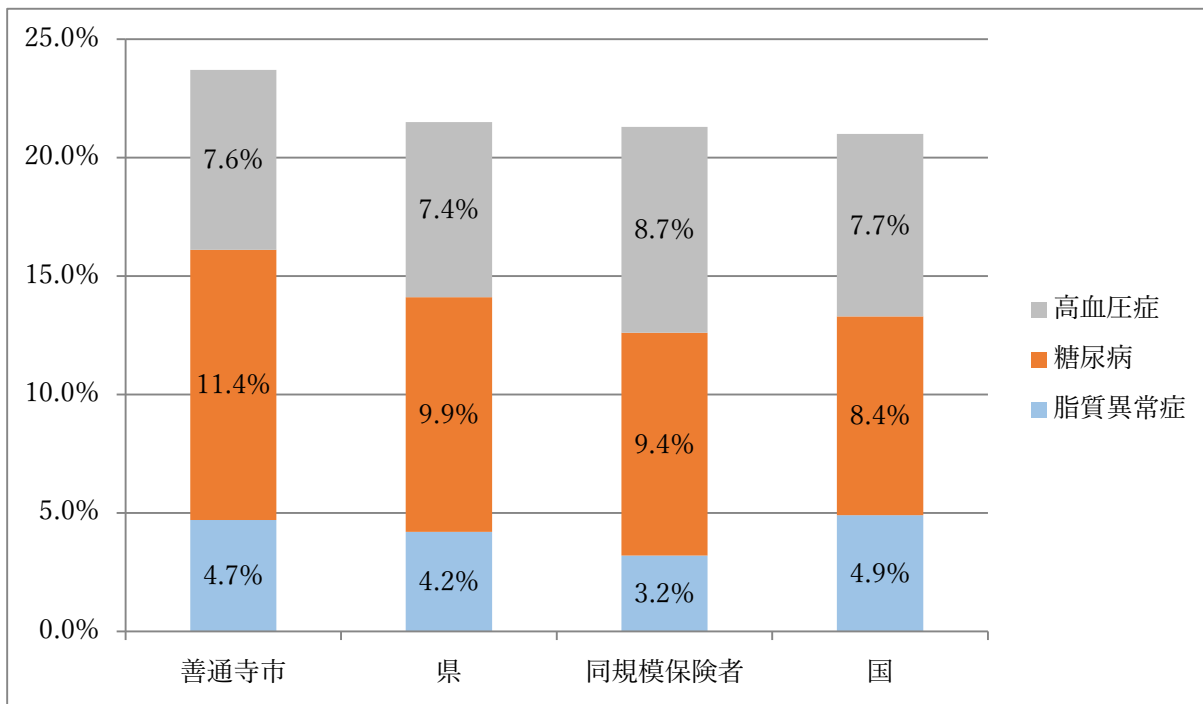


(KDB 疾病別医療分析 細小(82)分類より)

本市は県、同規模保険者及び国と比較して、外来、入院ともにレセプト点数に占める生活習慣病の割合が高く、中でも糖尿病の占める割合が高くなっています。

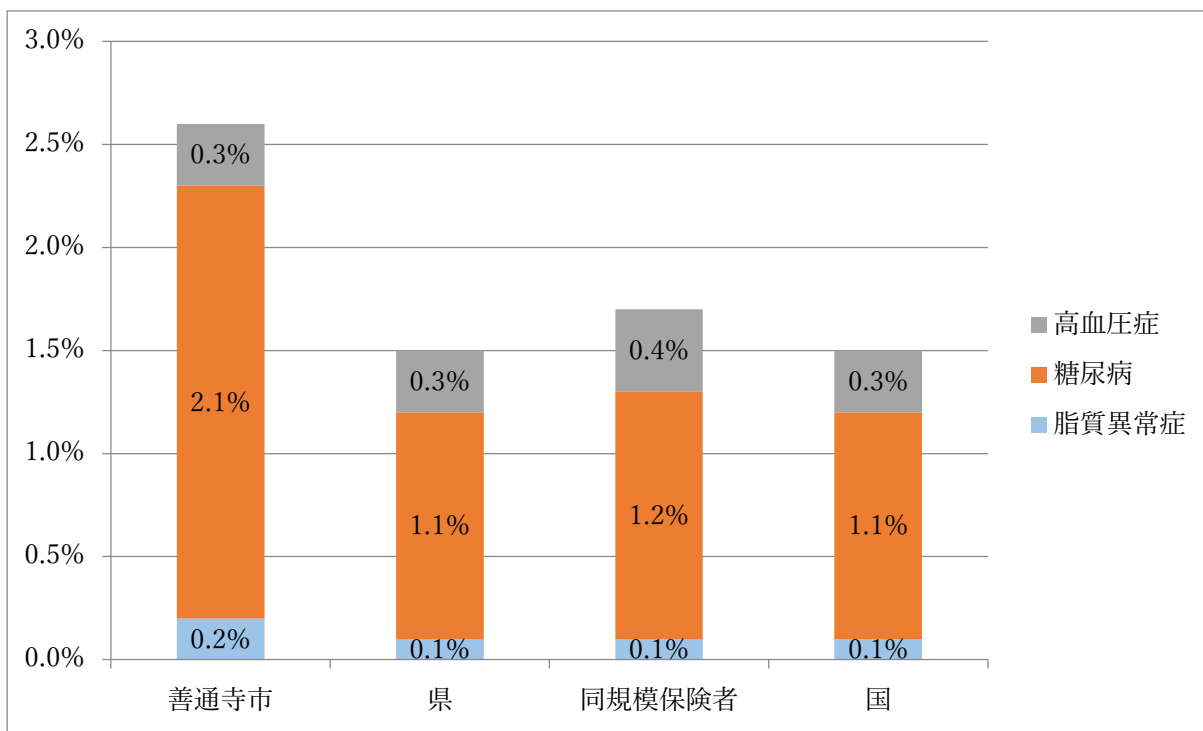
次に、65歳から74歳に年齢を特定せず、本市の被保険者全体の入院・外来レセプト点数に占める生活習慣病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)の割合を県、同規模保険者及び国と比較します。

図 6-3 平成 28 年度外来レセプト点数に占める生活習慣病の割合 (単位: %)



(KDB 疾病別医療分析 細小(82)分類より)

図 6-4 平成 28 年度入院レセプト点数に占める生活習慣病の割合 (単位: %)



(KDB 疾病別医療分析 細小(82)分類より)

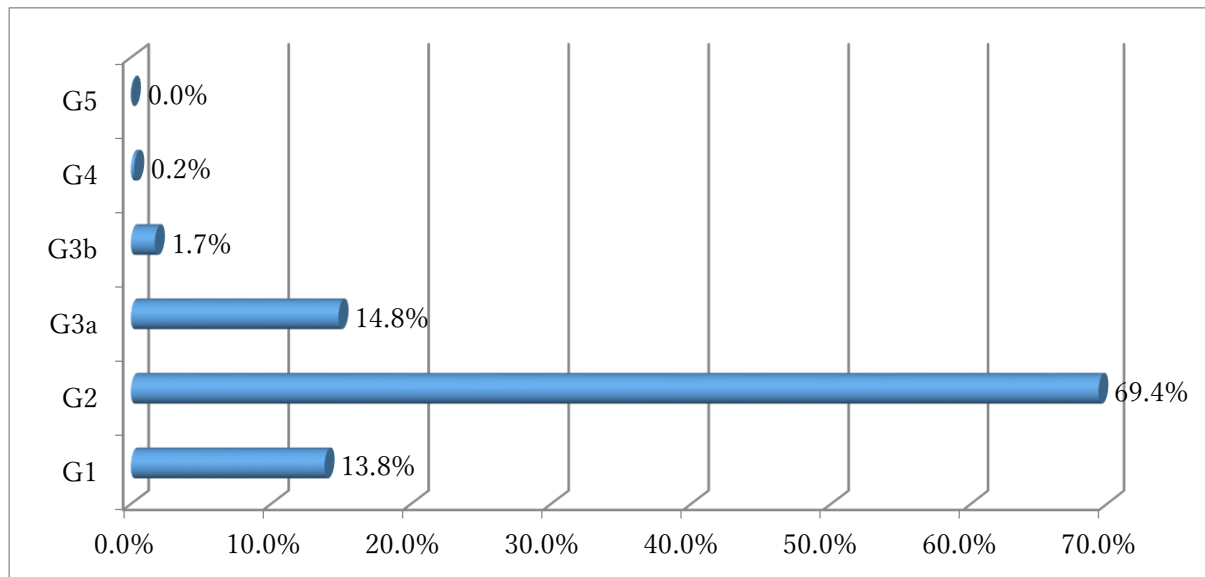
高血圧症、脂質異常症の割合については、県、同規模保険者及び国と比較して大きな較差が見られないものの、糖尿病の割合については外来、入院ともに本市の割合が上回っており、特に入院レセプト点数に占める糖尿病の割合の高さが顕著にあらわれています。

5 慢性腎臓病(CKD)の重症度

慢性腎臓病(CKD)は、慢性的に腎機能が低下する病気で、誰もがかかる可能性のある病気です。その重症度に応じてG1～G5の段階に分けられていて、G1が正常でありG5に近づくほど腎臓の機能が低下していることを表し、G5の段階になると人工透析の治療の必要性があります。また、糖尿病などの生活習慣病は、慢性腎臓病を悪化させるといわれています。

平成28年度特定健診結果から腎機能の値を表すe-GFR値をG1～G5の段階に分けたところ、腎機能が中程度以上に低下している方(G3a～G5)が16.7%を占めています。

図8 平成28年度特定健診結果におけるe-GFRの段階毎の割合 (単位:%)

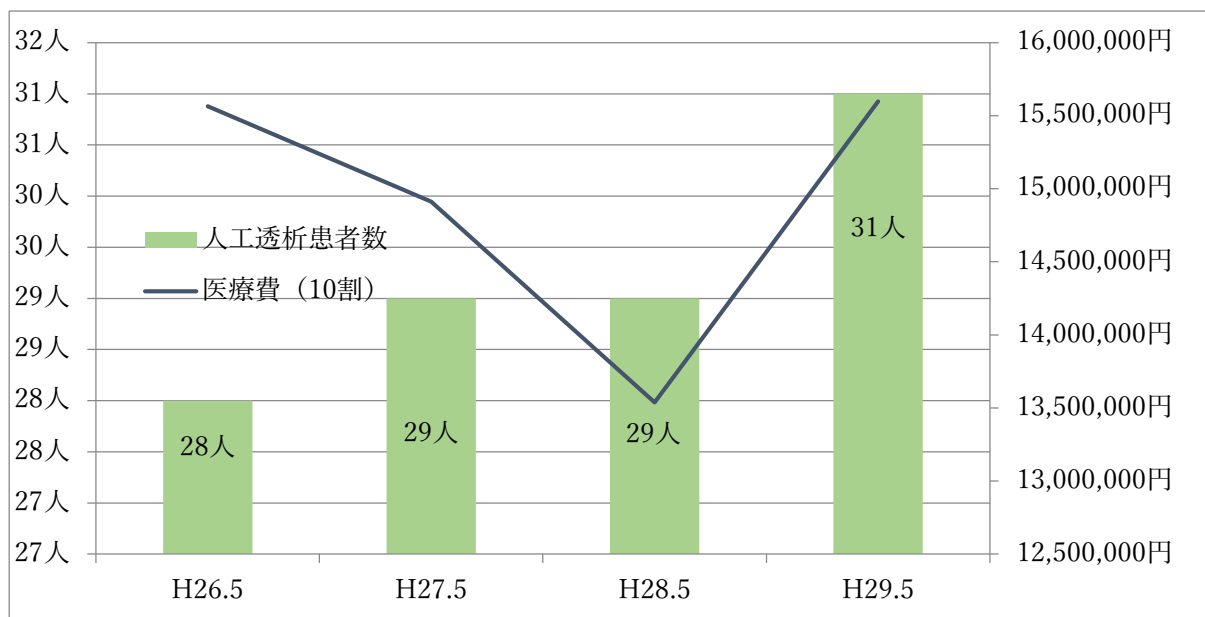


(KDB 厚生労働省様式 2-2 より)

6 人工透析患者数

国民健康保険に加入している方のうち人工透析の患者数は、年々増えています。また、人工透析にかかる医療費は平成29年5月診療分を見ると31人で約1,550万円/月です。これは、年間で約1億8,600万円になります。また、1人当たりでは約600万円/年の医療費になります。

図9 人工透析患者数と医療費の推移 (単位:人・円)



(KDB 厚生労働省様式 2-2 より)

第4章 第1期(平成28年度～平成29年度)の期間における事業の実施状況

1 健康診査

事業名	実施状況			
特定健診	〔目的〕生活習慣病の予防、医療費の適正化			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	対象者	5,186人	5,011人	実施中
	受診者	2,176人	2,165人	実施中
	目標値	50.0%	55.0%	60.0%
	受診率	42.0%	43.2%	実施中
〔対象者〕善通寺市国民健康保険の被保険者のうち40～74歳の者				
〔主な取組み〕				
①ポスターの作成・掲示				
②市広報・市ホームページによる周知				
③対象者への受診勧奨				
(未受診者勧奨:年度毎に対象者を選定し受診勧奨を実施)				

事業名	実施状況							
がん検診	〔目的〕がんの早期発見・早期治療、疾病の重症化予防							
	検診名	平成27年度			平成28年度(※)			平成29年度
		対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	
	胃がん (バリウム)	10,517人	3,184人	30.3%	19,545人	3,253人	16.1%	実施中
	(内視鏡)		1,914人	18.2%		1,848人	9.5%	
	肺がん	10,517人	1,270人	12.1%	19,545人	1,405人	7.2%	実施中
	子宮 頸がん	7,918人	5,692人	54.1%	19,545人	5,742人	29.4%	実施中
	乳がん	6,504人	2,042人	25.8%	13,856人	2,102人	15.2%	実施中
	大腸がん	10,517人	1,756人	27.0%	10,443人	1,974人	18.9%	実施中
	前立腺 がん	4,013人	3,577人	34.0%	19,545人	3,484人	17.8%	実施中
目標値	—	—	40.0%	—	—	40.0%	45.0%	
〔対象者〕40歳以上の市民(子宮頸がん検診は20歳以上の女性)								
〔主な取組み〕								
①個別・集団の手法による各種がん検診の実施 (個別:市内医療機関及び指定4医療機関による人間ドック) (集団:検診車による巡回)								
②特定健診・人間ドックの受診券と併せての受診券郵送								
③がん検診精密検査未受診者への訪問								

(※)平成28年度より、がん検診の対象者数についての考え方が「国民健康保険の被保険者」から「市民全体」に見直され、受診率の算定方法が変わりました。

事業名	実施状況			
歯周病検診 (1歳6か月児健診)	〔目的〕歯周病に対する若い世代の意識啓発			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	対象者	283 人	286 人	実施中
	受診者	165 人	151 人	実施中
	目標値	40.0%	40.0%	40.0%
	受診率	58.0%	50.1%	実施中
〔対象者〕1歳6ヶ月児健診受診児の父母				
〔主な取組み〕				
① 歯科医師による歯周病検診・未処置歯の確認・保健指導				
② 歯科衛生士による歯みがき指導・歯周病予防保健指導等				

事業名	実施状況			
KKDA 糖尿病受診中断者受診勧奨	〔目的〕糖尿病の重症化予防、医療費の適正化			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	対象者	43 人	32 人	実施中
	受診者	0 人	0 人	実施中
	目標値	25.0%	25.0%	実施中
	受診率	0%	0%	実施中
〔対象者〕糖尿病と診断された者のうち、6か月以上未受診状態にある者				
〔主な取組み〕				
① 郵送による受診勧奨				
② 訪問及び健康相談による受診勧奨				

事業名	実施状況			
KKDA 歯科 受診勧奨・ 保健指導	〔目的〕糖尿病の重症化予防、医療費の適正化			
	受診勧奨			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	対象者	12 人	31 人	実施中
	受診者	1 人	0 人	実施中
	目標値	25.0%	25.0%	25.0%
	受診率	8.3%	0%	実施中
	〔対象者〕特定健診の質問項目及び特定健診の結果、歯周病の疑いのある者のうち、過去1年間に歯科未受診状態にある者			
	〔主な取組み〕 ① 郵送及び訪問による受診勧奨			
	保健指導			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	対象者	48 人	35 人	実施中
	実施者	10 人	7 人	実施中
	目標値	25.0%	25.0%	25.0%
	実施率	20.8%	20.0%	実施中
	〔対象者〕特定健診の質問項目及び特定健診の結果、歯周病の疑いのある者			
	〔主な取組み〕 ① 郵送及び訪問による保健指導の案内 (保健指導は香川県歯科医師会に委託)			

事業名	実施状況			
KKDA 慢性腎臓病(CKD)受診勧奨・保健指導	〔目的〕糖尿病の重症化予防、医療費の適正化			
	受診勧奨			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	対象者	57 人	68 人	実施中
	受診者	16 人	23 人	実施中
	目標値	25.0%	25.0%	25.0%
	受診率	28.1%	33.8%	実施中
	〔対象者〕特定健診の結果、慢性腎臓病を疑わせる所見のある者			
	①eGFR 値が 60 以上かつ尿たんぱくが 2+ 以上の者			
②eGFR 値が 50 以上 60 未満(70 歳以上は eGFR 値が 40 以上 60 未満)かつたんぱくが 2+ 以上の者				
③eGFR 値が 50 未満(70 歳以上は eGFR 値が 40 未満)の者				
〔主な取組み〕				
① 郵送による受診勧奨				
保健指導				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
対象者	293 人	350 人	実施中	
受診者	65 人	66 人	実施中	
目標値	25.0%	25.0%	25.0%	
実施率	22.2%	18.9%	実施中	
〔対象者〕特定健診の結果、軽度の慢性腎臓病を疑わせる所見のある者				
①eGFR 値が 60 以上かつ尿たんぱくが 1+ の者				
②eGFR 値が 50 以上 60 未満(70 歳以上は eGFR 値が 40 以上 60 未満)かつたんぱくが 2+ 以上の者				
〔主な取組み〕				
① 郵送による保健指導教室等の案内				
② 保健指導教室及び個別保健指導の実施				

2 健康教室

事業名	実施状況			
特定保健指導 (人間ドック・市 実施)	〔目的〕生活習慣病の発症及び重症化予防、医療費の適正化			
	特定保健指導(委託・直営)			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	対象者	292 人	282 人	実施中
	実施者	63 人	59 人	実施中
	目標値	48.0%	54.0%	60.0%
	実施率	21.6%	20.9%	実施中
	〔対象者〕特定健診の結果、生活習慣病のリスクが高く、特定保健指導が必要と判断された者			
	〔主な取組み〕 ①人間ドック実施医療機関及び市が実施する事業において、特定保健指導 を実施 ②人間ドック実施医療機関での保健指導を受けていない者を対象にした健康づくり講座の案内			
健康づくり講座				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
実施の有無	実施	実施	実施	
目標値※	80.0%	80.0%	80.0%	
達成値※	63.4%	71.4%	実施中	
※講座の修了者のうち行動変容があった者の割合				
健康づくり講座フォロー				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
目標値※	30.0%	30.0%	30.0%	
達成値※	76.9%	22.2%	実施中	
※前々年度に健康づくり講座に参加した者のHbA1c値の改善率				

事業名	実施状況		
健康運動大学	〔目的〕健康推進及び生活習慣病予防		
		平成 27・28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施
	目標値※	80.0%	80.0%
	達成値※	筋肉量:77.8% 脂肪率:50.0% 体年齢:77.8%	実施中
※参加者のうち、筋肉量・脂肪率・体年齢を維持した者又は改善した者の割合 〔対象者〕①～③のいずれかにあてはまる者で、運動習慣のない者 ①特定保健指導対象者 ②生活習慣病があり、運動が必要とされる者 ③筋力低下・肥満の状態にある者 〔主な取組み〕 ①運動指導及び個別栄養指導			

事業名	実施状況			
国保健康教室	〔目的〕生活習慣病の予防啓発			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施地区	3 地区	3 地区	実施中
	実施回数	6 回	7 回	実施中
	参加者	191 人	228 人	実施中
〔対象者〕各地区の健康推進員 〔主な取組み〕 ①講話の企画紹介、自発的開催の促進 ②香川県国民健康保険団体連合会への講師協力依頼				

事業名	実施状況			
ヘルススクール	〔目的〕若年層の健康意識の向上及び健診受診に対する意識啓発			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	4 回	4 回	実施中
	参加者	48 人	13 人	実施中
〔対象者〕20～50 歳代の市民 〔主な取組み〕 ①若年層を対象とした健康及び食に関する講話・調理実習の実施 定員:20 名/年(年間登録) 費用:500 円/人×4 回				

事業名	実施状況			
いきいきキラッと善通 寺食育推進事業	〔目的〕バランスのとれた食生活の推進及び健康増進			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	76 回	75 回	実施中
	参加者	7,622 人	6,212 人	実施中
	〔対象者〕市民 〔主な取組み〕 ①食に関する講話及び調理実習 (食生活改善推進協議会に委託)			

事業名	実施状況			
地区組織の育成	〔目的〕各地区推進員及び地区組織の育成			
	食生活改善推進員養成講座			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	8 回	8 回	実施中
	参加者	106 人	100 人	実施中
	講座修了者	13 人	15 人	実施中
	食生活改善推進員会員研修(育成)			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	11 回	8 回	実施中
	参加者	193 人	143 人	実施中
	〔対象者〕養成講座:市民 会員研修:食生活改善推進員修了者 〔主な取組み〕 ①市内 8 地区の食生活改善推進員に対する研修会の実施 健康推進員(出前講座)			
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
目標回数	5 地区	8 地区	8 地区	
実施回数	4 地区	5 地区	実施中	
参加者	148 人	203 人	実施中	
〔対象者〕健康推進員等 〔主な取組み〕 ①国保事務担当者及び保健師による各地区公民館での講座の実施				

3 健康教育

事業名	実施状況			
健康相談	〔目的〕生活習慣病予防及び健康の保持・増進			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	45 回	45 回	実施中
	参加者	1,167 人	1,120 人	実施中
〔対象者〕市民				
〔主な取組み〕				
① 各地区公民館等において健康相談及び骨密度・体組成・血管年齢・尿検査を実施				

事業名	実施状況			
健康器具指導	〔目的〕体力向上及び健康の維持・増進			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	48 回	48 回	実施中
	参加者	325 人	306 人	実施中
〔対象者〕市民				
〔主な取組み〕				
① 健康運動指導士による運動器具の利用方法の指導(東部・西部・南部・吉原の各公民館)				

事業名	実施状況			
多受診訪問指導	〔目的〕適正受診の推進			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	実施の有無	実施	実施	実施
	実施回数	100 世帯	100 世帯	実施中
	参加者	確認中	11 世帯	実施中
〔対象者〕① 多受診被保険者: 個人のレセプト枚数が年間 36 枚以上の者				
② 多受診世帯: 世帯のレセプト枚数が年間 50 枚以上の世帯				
〔主な取組み〕				
① 家庭訪問による適切な受診についての指導及び保健指導の実施				

第5章 健康課題と目標の設定

1 健康課題の設定

本市は、第5次善通寺市総合計画において基本目標に「福祉先進、だれにもやさしいまちづくり」を掲げ、すべての市民が健康で元気に暮らせるよう、地域・行政・医療機関などが連携した健康に関する教育・指導・相談体制を整え、市民が主体となる健康づくりを推進しています。

基本目標の実現のために、第1期(平成28年度～平成29年度)の期間における本市の取り組みと成果を踏まえ、第2期データヘルス計画では次の健康課題をあげて取り組みます。

課題① 生活習慣病の予防対策

- ・本市の医療費のうち生活習慣病(がん・糖尿病・慢性腎不全・高血圧症・脂質異常症)が占める割合は約55%であり、中でもがん・糖尿病の占める割合が高い。(図5-3より)
- ・本市の医療費のうち三大疾病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)が占める割合について県、同規模保険者、国と比較すると、総じて本市の割合は高く、中でも糖尿病の割合の高さが顕著にあらわれている。(図6-1, 図6-2, 図6-3, 図6-4より)

課題② 生活習慣病の重症化予防対策

- ・特定健診受診者2,165人のうち、メタボリックシンドローム該当者は855人(39.5%)であり、そのうち、血糖値・血圧・脂質の異常値を示した者が9割以上を占め、保健指導の対象と判定された者は281人(32.9%)である。(図5-4, 図5-5, 図5-6より)
- ・生活習慣病(がん・糖尿病・慢性腎不全・高血圧症・脂質異常症)にかかる医療費のうち、慢性腎不全にかかる医療費はがん、糖尿病に次ぐ割合を占めており、人工透析患者数は増加傾向にある。(図5-3, 図9より)

課題③ 健康増進対策(こころとからだ)

- ・本市の医療費のうち精神疾患の占める割合は18.2%、筋・骨疾患は16.5%であり、20.5%のがんに次ぐ医療費を占めている。(図5-3より)


課題④ 地区組織力の向上対策

- ・性別や年齢によって違いはあるものの、受診率の高い地区、低い地区の差が生じている。特に40歳～64歳の受診率において差が生じている。(図4-3, 図4-4より)


2 健康課題に対する目標と目標達成に向けての取組み

課題① 生活習慣病の予防対策

目標①: 特定健診受診率の向上


年度毎の目標	前年度より受診率増 
目標達成に向けての取組み	・特定健診未受診者への受診勧奨 (はがき・電話)
	・特定健診受診者への継続受診勧奨 (各種保険事業や地区組織活動での啓発)
	・ヘルススクール
見込まれる効果	・健康意識の向上と健診受診に対する意識付け
	・生活習慣病の早期発見

目標②: がん検診精密検査受診率の向上


年度毎の目標	前年度より受診率増 
目標達成に向けての取組み	・がん検診要精検対象者への精検受診勧奨
見込まれる効果	・重症化の予防

課題② 生活習慣病の重症化予防対策

目標①: 特定保健指導実施率の向上

年度毎の目標	前年度より実施率増 
目標達成に向けての取組み	・健康づくり講座の実施
	・健康づくり講座フォローの実施
	・個別保健指導
	・人間ドック実施医療機関への保健指導委託
見込まれる効果	・重症化の予防、異常値を示した者の増加抑制
	・メタボリックシンドローム予防

目標②: 人工透析導入者数割合の抑制

年度毎の目標	前年度の割合を維持※ 
目標達成に向けての取組み	・KKDA慢性腎臓病(CKD)予防保健指導 (慢性腎臓病(CKD)予防教室・個別保健指導等)
	・KKDA慢性腎臓病(CKD)受診勧奨(文書)
	・KKDA糖尿病受療中断者受診勧奨
	・KKDA歯科保健指導
	・KKDA歯科受診勧奨
	・歯周病検診(1歳6ヶ月児健診時実施)
	・出前講座(糖尿病・歯周病・医療費)
見込まれる効果	・若年層の健康意識の向上
	・早期の糖尿病予防

※前年度の割合を維持しつつ、計画当初より減を長期目標に掲げ、取り組めます。

目標③:がん検診受診率の向上

年度毎の目標	前年度より受診率増↷
目標達成に向けての取り組み	・未受診者への受診勧奨
見込まれる効果	・がんの早期発見、早期治療に対する意識付け ・重症化の予防

課題③ 健康増進対策(こころとからだ)

目標①:健康相談事業の実施

年度毎の目標	継続実施↷
目標達成に向けての取り組み	・いきいき健康相談 (市内8公民館・総合会館・市役所) ・個別相談(個別栄養相談・各種個別健康相談)
見込まれる効果	・メンタルヘルスケアを通じてのセルフケアの獲得 ・幸福度の向上

目標②:運動推進事業の実施

年度毎の目標	継続実施↷
目標達成に向けての取り組み	・健康運動大学 ・健康運動事業(ながら運動・運動器具指導)
見込まれる効果	・日常生活における運動習慣付け ・筋力アップ

目標③:食育推進事業の実施

年度毎の目標	継続実施↷
目標達成に向けての取り組み	・各種栄養教室 ・いきいきキラッと食育推進事業
見込まれる効果	・食生活改善に対する意識付け

課題④ 地区組織力の向上対策

目標①:健康推進員の育成

年度毎の目標	継続実施↷
目標達成に向けての取り組み	・健康推進員研修会等
見込まれる効果	・地域に根差す健康意識の向上

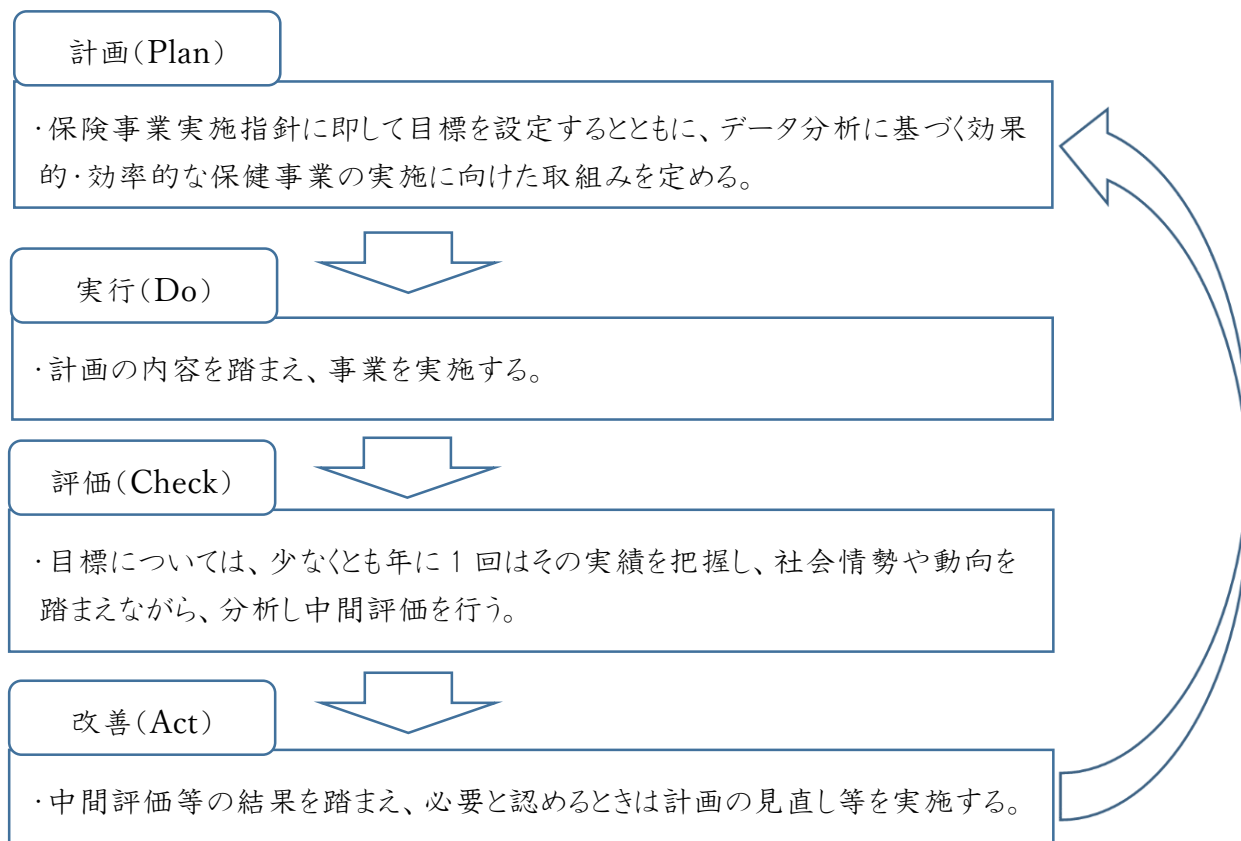
目標②:食生活改善推進員の養成・育成

年度毎の目標	継続実施↷
目標達成に向けての取り組み	・食生活改善推進員養成講座 ・食生活改善推進員研修会等
見込まれる効果	・バランスのとれた食生活意識の浸透

第6章 計画の推進体制

1 計画の進行管理

本計画の進行管理は、方針・目標を立てること(Plan)、その目標に達成に向けての取組みを実施すること(Do)、その進捗状況を点検・評価すること(Check)、計画をより良い方向へ見直すこと(Act)を一連の流れとする「PDCA サイクル」を繰り返し行うことにより、継続的な改善を図ります。



2 計画の見直し

計画期間の最終年度(平成 35 年度)に、実績に関する評価を行います。この結果は、計画の内容の見直しに活用し、次期計画の参考とします。

3 公表と周知

本計画を策定したときは、本市ホームページへ掲載し公表します。また、市広報において本計画の策定を周知します。

4 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、善通寺市個人情報保護条例(平成 17 年条例 5 号)及び個人情報保護法に基づく様々な「個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」等を踏まえ、適切な管理を行います。

善通寺市保険事業実施計画（第2期データヘルス計画）

発行年月 平成30年3月

発行 善通寺市

善通寺市保健福祉部保健課

〒765-8503

善通寺市文京町二丁目1番1号

TEL 0877-63-6308

FAX 0877-63-6368

e-mail hoken@city.zentsuji.kagawa.jp